

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：天才キッズクラブ楽学館百合丘園	種別：認可保育所
代表者氏名：西川和枝	定員（利用人数）：60名 （利用人数：69名）
所在地：〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-16-16	
TEL：044-712-5025	ホームページ： https://www.tensaikids.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2018年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社TKC	
職員数	常勤職員： 15名 非常勤職員 11名
専門職員	園長 1名 主任 1名
	保育士 14名 小学校教諭 1名
	保育補助 7名 看護師 1名
	事務員 1名
施設・設備の概要	保育室 3室 トイレ 5
	調理室 1 事務室 1
	園庭 無

③ 理念・基本方針

法人理念

- 子ども一人一人を大切にし保護者から」も信頼され地域に愛される保育園を目指し、子どもの最善の利益を考え創意工夫する
- 大人も子どもも楽しめる「世界一ワクワクする保育園」
- ここに来ると皆元気になれる「地域のパワースポット」

保育理念

- 全ての子どもが天から授かった才能を持っているという理念に基づき色々なチャレンジをし、成功体験と失敗体験から「生きる」を育てる
- 教えない、やらせない、無理強いしない

基本方針

乳幼児それぞれの時期に、一人一人の子どもの天から授かった潜在能力を引き出しIQ(学力)EQ(心力)GQ(元気力)のバランスの良い子どもを育てる

- 教えない
 - 競争する
 - 子ども扱いしない
 - 習慣(挨拶、早寝早起きなどの基本的な死活習慣を身につける)
- 体力づくりで脳への刺激を与えることにより、集中力を高める

④ 施設・事業所の特徴的な取組

・保育者は、園児が自ら楽しんで身体を動かしたり、様々な活動に意欲的に取り組めるよう努めています。そのために、まず保育者自身が保育を楽しむことを大切にしています。

- ・職員間では、良好な人間関係を築くために、様々なワークを取り入れ、日々前向きに、相手の良いところを見る習慣を身に付ける努力をしています。
- ・スーパーハッピーを毎日一人ずつピックアップして、その子の良いところを褒めていくことを習慣にしています。保育者だけでなく、子ども達も良いところをみたり、人の応援ができるような環境を作っています。
- ・カリキュラムでは、運動、ピアノ、ミュージカル、英語、リトミックなどを取り入れています。基本方針にもあるように、「教えない、やらせない、無理強いしない」をモットーに、とにかく楽しく遊びの中で習得できるよう心掛けています。小さな「できた！」を積み重ね、自信を持ち、どんなことにも挑戦する気持ちを育てています。
- ・卒園するころには、逆立ち歩きが全員10メートル出来るようになったり、跳び箱が5段跳べるようになっていきます。ピアノの習得や絵本も1000冊近く読破しています。子どもたちの可能性を今後も応援していきたいと思っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年9月22日（契約日） ～ 令和5年3月29日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（ 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)多くの体験が出来るよう環境設定し、やる気を育む保育を実践しています。すべての子どもが天から授かった才能を持っているという保育理念に基づき、様々なチャレンジを応援し、子どもの成功体験や失敗体験から「生きる力」を育てています。保育理念の「教えない、やらせない、無理強いしない」を踏まえ、子ども一人ひとりの得意や良さを伸ばし、自信を育て、「もっとやりたい」と次の意欲に繋げる保育を行っています。体操、かけっこ、リトミック、ミュージカル、読み書き計算等の数多くの自学自習のカリキュラムがあります。自分の好きなことを見つけるきっかけとし、仲間の応援の中で挑戦し、諦めなければ出来るようになること、競争することで悔しさを感じ、その悔しさをバネにさらに挑戦する等の生きる力を育む保育が子どものやる気につながっています。

2)様々な取組の工夫で、職員間のコミュニケーションが図られています。職員は「グッドエラードンマイ」を合言葉に、職員間の関係性を大切にしながら保育を実施し、協力体制を整えています。「グッドエラードンマイ」は、チームでゲームに取り組み、間違えた職員のミスをみんなでカバーする研修にも取り入れられています。また、「ピグマリオンミーティング」を取り入れ、職員同士のいいところを認め合い、チーム力向上にも繋げています。さらに、園では職員同士で「ハイタッチ」を心がけ、職員と子ども、職員と保護者でも行われ、明るい雰囲気のもとに園の運営が進められています。様々な取組を工夫し、より良いコミュニケーションが図られています。

3)子どもの状況を詳しく情報提供することで信頼関係を確立しています。園では、保育システムのメール機能を有効に活用し、日々の子どもの活動内容や保育内容の情報を保護者に発信しています。3歳児クラス・4歳児クラス・5歳児クラスでは、活動内容を写真に撮り、毎日20枚～30枚程度を保護者に配信しています。保護者は日中の子どもの様子を確認することができ、安心して子どもを預けています。メール機能を使い、保護者からも家庭での様子や気になることを職員に確認・相談することができ、職員から専門的な知識をもとにアドバイスをもらっています。こ

のような日々のやり取りから保護者と職員の信頼関係が築かれ、保育が実践されています。

4)園の課題の明確化が期待されます

職員は毎月「振り返りシート」による自己評価を実施していますが、職員個人によるものとなっています。話し合いなどを通しての園としての保育の質の向上は取り込まれていません。今後は、職員の自己評価をまとめ、課題などを話し合い、園の課題を明確化して改善につなげていくことが期待されます。

5)子どもの主体性を伸ばす取組が期待されます

園では、運動（体操、マラソン）ピアノ、ミュージカル、英語、知育、リトミックなど多くの体験を取り入れています。基本方針の「教えない、やらせない、無理強いしない」をモットーに、とにかく楽しく遊びの中で習得できるよう心掛けており、子どものチャレンジ精神や自信につながる成果をあげています。しかし、現在は子ども自身が考え、主体的に活動できる時間や環境がなかなか少ないように思われます。今後、自己表現や自らの探索など、子どもが主体的に活動出来る環境設定のさらなる検討が望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回初めての第三者評価は、福祉サービスの向上を目指す私たちにとって、貴重な振り返りの機会となりました。

今回良い評価をいただいたことは継続しながら、改善を求められたことは真摯に受け止め更なる向上のために園全体で実践していきたいと思えます。職員も一人一人が自己評価を行うことにより、自分たちの園や保育について、また保護者との関りについて、改めて考える良い機会となったように思います。

評価結果については、たくさんの資料に目を通し、施設訪問での見学や聞き取りを元に、園の特徴や取り組みを丁寧に細かくコメントしていただき、感謝いたします。

保護者のアンケートでは、多数の方から肯定的なご意見をいただけてとても嬉しく思います。普段から取り組んでいる保育により、信頼関係が築け、安心してお子様を預けていただけてると実感しました。

これからも子供たちを中心に、保護者、地域、各関係機関の方々の繋がりを大切にし、一人一人が安心して過ごせる、毎日笑顔で通いたくなる園づくりを目指して日々努めていきたいと思えます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり